

平成 25 年 6 月 7 日

日本行動医学会

専門研究グループ (SIG) 活動報告書

グループ名	学生保健研究グループ				
代表者氏名	田山 淳	所属	長崎大学保健・医療推進センター	職名	准教授
連絡先	Tel : 095-819-2214 Fax : 095-819-2214 e-mail : jtayama@nagasaki-u.ac.jp				
1 年間の活動内容 (具体的な活動内容とその成果)	<p>本 SIG グループ (学生保健研究グループ) は、これまで学生を対象とした研究を行い、学生の心身の健康増進に寄与する活動を一貫しておこなってきた。これまでの成果としては、疫学調査研究、各種尺度開発に関する研究、介入研究等について本 SIG 研究グループメンバーを中心に計画し実施してきた。昨年と同様、今年度についてもこれまでに実施してきた研究の成果をいくつかの英文・和文論文ならびに国内外の学会発表として社会還元することができた。以下は、学生保健研究グループが関与した直近 1 年間の業績である (SIG 世話人に二重アンダーライン、行動医学会会員にアンダーラインを付記)。</p>				
英文論文 (査読あり)	<ol style="list-style-type: none"> 1. <u>Jun Tayama</u>, Hironori Yamasaki, Mami Tamai, Masaki Hayashida, Ssusumu Shirabe, Kazuki Nishiura, <u>Toyohiro Hamaguchi</u>, <u>Tadaaki Tomiie</u>, <u>Naoki Nakaya</u>. Effect of baseline self-efficacy on physical activity and psychological stress after a one-week pedometer intervention. <i>Perceptual and Motor Skills</i>. 114:1-12, 2012. 2. <u>Jun Tayama</u>, <u>Naoki Nakaya</u>, <u>Toyohiro Hamaguchi</u>, <u>Tadaaki Tomiie</u>, <u>Masae Shinozaki</u>, <u>Tatsuo Saigo</u>, <u>Susumu Shirabe</u>, <u>Shin Fukudo</u>. Effects of personality traits on the manifestations of irritable bowel syndrome. <i>Biopsychosoc Med</i>. 6 doi: 10.1186/1751-0759-6-20, 2012 				
和文論文 (査読あり)	<ol style="list-style-type: none"> 1. <u>田中勝則</u>、<u>田山淳</u>、有村達之. 大学生における身体醜形懸念とアレキシサイミアとの関連. <i>心身医学</i> 53:334-342, 2013. 2. 松田幸久、<u>田山淳</u>. ピア・サポートにおける気分変化に及ぼす‘固執’の影響について. <i>心身医学</i> 52:396-404, 2012. 3. 松田幸久、<u>田山淳</u>. 抑うつにおける推論の誤りを測定する自己・他者志向的誤推論尺度 (Self - Other Focused Thinking Error Scale : SOFT) の作成. <i>心身医学</i> 52: 835 -844, 2012. 4. <u>小川さやか</u>、佐藤友則、中垣内真樹、阿南祐也、山崎浩則、<u>西郷達雄</u>、西浦和樹、調漸、<u>田山淳</u>. フィットネスに関する健康行動尺度の開発と信頼性・妥当性の検討. <i>CAMPUS HEALTH</i> (印刷中). 5. <u>富家直明</u>、<u>新川広樹</u>. ストレスマネジメントで行うダイエット. <i>臨床心理学</i> 12:789-794, 2012. 6. <u>富家直明</u>、<u>村椿智彦</u>、<u>田山淳</u>. 音楽気分誘導法の個人差とバウムテストによるパーソナリティ傾向の関連. <i>北海道医療大学心理科学部研究紀要</i> 7:27-34, 2012. 				
国際学会発表	<ol style="list-style-type: none"> 1. <u>Toyohiro Hamaguchi</u>, Kunihiko Shimizu, <u>Jun Tayama</u>, <u>Tadaaki Tomiie</u>, <u>Tatsuo Saigo</u>, <u>Mototori Kanazawa</u>, Koji Sakurai, <u>Shin Fukudo</u>. Accelerometer and autonomic nervous system response to physical exercise in patients with irritable bowel syndrome. <i>The 12th International Congress of Behavioral Medicine, Budapest, Hungary, 2012.</i> 				

<p>国内学会発表</p>	<ol style="list-style-type: none"> 2. <u>Jun Tayama</u>, <u>Naoki Nakaya</u>, <u>Toyohiro Hamaguchi</u>, <u>Tadaaki Tomiie</u>, <u>Masae Shinozaki</u>, <u>Tatsuo Saigo</u>, Masaki Hayashida, <u>Shin Fukudo</u>. The effects of personality on irritable bowel syndrome. The 12th International Congress of Behavioral Medicine, Budapest, Hungary, 2012. 3. <u>Masanori Tanaka</u>, <u>Jun Tayama</u>, Tatsuyuki Arimura. Developmental change of body dysmorphic concern in Japanese population: a cross-sectional web-based survey. The 12th International Congress of Behavioral Medicine, Budapest, Hungary, 2012. 1. 村椿智彦, 富家直明, 本谷亮, 田山淳, 森下城, 鹿野理子, 金澤素, 坂野雄二, 福土審. 減量を目的とした集団認知行動療法の有効性. 第7回生活習慣病認知行動療法研究会, 東京, 2012. 2. 山崎浩則, 田山淳, 前田真由美, 大坪敬子, 浅雄加奈子, 阿比留教生, 調漸. 大学生に適した新規食行動質問票の開発. 第50回全国大学保健管理研究集会, 神戸, 2012. 3. Peter Bernick, 田山淳, 富永ちはる, 西郷達雄, 小川さやか, 林田雅希, 調漸. 新入生を対象とした健康診断におけるメンタルヘルス対策の導入. 第50回全国大学保健管理研究集会, 神戸, 2012. 4. 西郷達雄, 小川さやか, 福原視美, 田山淳, 林田雅希. 大学生の抑うつ症状軽減を目的とした集団認知行動療法の効果. 第50回全国大学保健管理研究集会, 神戸, 2012. 5. 田山淳, 西郷達雄, 小川さやか, 林田雅希, 調漸. 大学生の過敏性腸症候群とメンタルヘルスの関連について. 第34回全国大学メンタルヘルス研究会, 北海道, 2012. 6. 西郷達雄, 小川さやか, 福原視美, 林田雅希, 調漸, 田山淳. 大学新入生のうつ予防を目的とした集団認知行動療法の効果. 第34回全国大学メンタルヘルス研究会, 北海道, 2012. 7. 新川広樹, 富家直明, 田山淳. 児童生徒の発達段階に応じた社会的スキルを測定する尺度の作成 (1) —小学校低学年・中学年・高学年の生徒指導に向けて— 日本教育心理学会第54回大会発表論文集, 沖縄, 2012. 8. 富家直明, 新川広樹, 田山淳. 児童生徒の発達段階に応じた社会的スキルを測定する尺度の作成 (2) —中学校・高等学校の生徒指導に向けて—. 日本教育心理学会第54回大会発表論文集, 沖縄, 2012. 9. 西塚拓海, 新川広樹, 富家直明, 田山淳, 濱口豊太. 反証と適応的思考の思考カテゴリー分類の試み. 日本行動医学会第19回大会発表論文集, 東京, 2013. 10. 西郷達雄, 田山淳, 富家直明, 中谷直樹, 濱口豊太, 坂野雄二, 福土審. 過敏性腸症候群と機能性ディスぺシアにおける Body Vigilance の差の検討. 第19回日本行動医学会学術総会, 東京, 2013.
<p>助成金の使途 (助成金を受けなかった場合は0円と記載。 内訳は原則として、会場費・通信費・謝金等の費目に従って記載して下さい。)</p>	<p>助成額 100千円 内訳 (費目ごとに員数・単価・金額を記すこと)</p> <p>会場費—0千円</p> <p>通信費—2名 (世話人)、2名×20千円、40千円</p> <p>謝金 (データ入力) —2名、2名×30千円、60千円</p>